

# 感謝の言葉しかない。

No.54

おかし処はとや 後藤さま

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人とのつながり」で紹介していきます。



しげる店長



富山県産餅米を使用した、田舎切り餅や季節の和菓子を販売している「おかし処はとや」さん。山一商店さんからのご紹介です。「木曾義仲・巴御前の大河ドラマ誘致が、やっと盛り上がりつつきてうれしい。」

玉泉嵐山町、広島県向島町と小矢部市が参加。「最近石川県がすごく盛り上がりはじめています。でも小矢部には源氏太鼓やゆかりのものは沢山ある。」

はとやさんの明治時代の菓子小売営業の許可書を見せて頂いた。「大日本帝国政府」という文字が並ぶ、とても興味深いもの。お店は創業以来150年以上続いているそうだ。義仲関連商品もたくさんある。



この「鳩八幡」というお菓子。義仲ゆかりの植生八幡宮の先代の宮司さんに名前をつけて頂いた。それ以外にも「義仲かぶと」というどら焼き、「巴御前」という最中、献上銘菓、イチゴ大福などがある。



はとやの大きな絵は、地元の建設会社の社長さんに書いていただいたもの。お店の名前の由来は、最初は後藤信栄堂だったが、先代のご主人が鳩屋信栄堂に変えた。「時代が平和になったから」という思いで付けた名前です。」

そして現社長が「おかし処はとや」と名付けた。「私は皆さんのおかげで今日があると思う。今まで出会った皆さんにありがとうと伝えたい。」



実は後藤さんは、41歳でご主人を亡くされた。その当時、子供は小学2年、高校1年、小学3年の三人。



餅 赤飯 季節菓子  
巾着用引き菓子  
**おかし処 はとや**  
〒932-0833  
小矢部市綾子517-1  
TEL 0766-67-0463  
FAX 0766-67-3471  
営業時間 8:00~19:00

「主人が5時まで仕事して、ちよっと体調が悪いと言って太田病院へ。そして突然亡くなった。」  
「今でも帰ってくる、帰ってくる、という思いです。」  
「主人が亡くなってからの事を思うと、今まで出会った方に感謝しかない。本当に皆さんのおかげ。」  
長男は、昼は大学、夜は菓子学校へ通うことになった。  
後藤さんは、何度も何度も、「同じ言葉を繰り返かえした。」  
「もう本当に感謝の言葉しかないんです。」  
百年以上つづく店。そこには、他人では計り知れない苦労があり、大切な人とのつながりがあることを深く感じることでできた取材だった。

プレゼント



## 当たってからの楽しみ！ 伝統の銘菓プレゼント！ 美味しいお菓子 10名様

募集期間：平成23年3月8日(月)まで  
PC・携帯からのご応募：<http://www.startaro.com/shop/>  
OYABE SNS会員様はキャンペーンに自動応募されます  
Oyabe Local SNS：<http://www.sns.startaro.com/>

つらい時期を乗り越えると感謝の言葉が残るんだな。



店長の一言